

冬季西穂高岳独標 山行記録

1.概要

- ①メンバー: 鍛冶 正一さん(リーダー)、山本 寛 計2名
- ②活動期間: 2023.3.18(土)~2023.3.19(日)の2日間
- ③目的: 今シーズン雪山の締めくり? 独標をエンジョイ!



写真① 車窓は雪国

2.山行内容

①1日目 AM5:30に北コニュに集合にて出発。睡眠も十分取れている為、体も快調!しかし飛び石4連休とのこともあり、途中渋滞するも初日の工程は余裕もあり、問題なし。

和歌山では連日日差しが強く暖かったが平湯温泉付近で雪が降っている為、ビックリするも山登りが楽しみ!となる。鍛冶さんに”竹ペグ”なる雪山でのテント張りを教えてもらっている内に山小屋での夕食のアナウンスが流れる。あ~明日が楽しみ!



写真② 鍛冶さんの別荘



写真③ ハンバーグ定食



写真④ 風紋と夜明け



写真⑤ 独標と西穂高岳



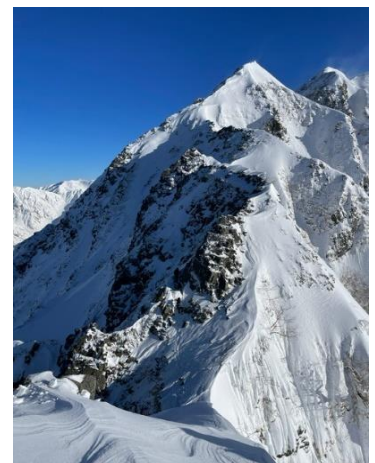
写真⑥ 前穂高側から昇る朝日



写真⑦ 独標到着



写真⑧ 前穂・吊り尾根・奥穂



写真⑨ ピラミッドピーク・西穂

②2日目 AM4:00に起床、軽く朝食を済ませ夜明け前の5:20頃から行動開始。鍛冶さんに雪の締まっている時間帯に行動することの大切さを教わる。

雲一つない快晴だが、横風がビュービューで少したじろぐ。体が温まらず、調子がなかなか上がらないが、7:00前に独標登頂。どこを向いても、一面の銀世界の景色に圧倒される。絶景を見ながら食べる行動食に満足満足。

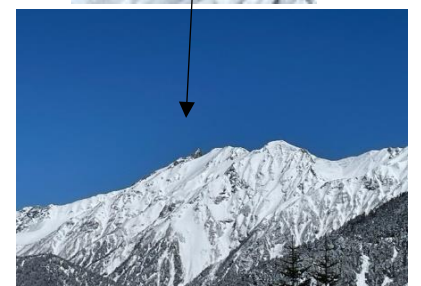
しかし、この後の独標からの下りで苦戦、、、岩が雪で隠れているので、ピッケルとアイゼンワークの未熟さを痛感。もっと経験値を上げねば。



写真⑩ 怖かった独標の下り



槍ヶ岳



写真⑪ 締めめの槍ヶ岳
以上

3.まとめ

白銀と雲一つない西穂ブルーの世界を十分に堪能させていただき、鍛冶さん本当にありがとうございました。選択肢が多い山域なので、興味のある方、次回ご一緒にいかがでしょうか?